

白浜レスキューネットワーク通信 9月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

9月1日～9月30日

電話件数 93件

保護件数 1件 (男性1名/女性0名)

帰宅件数 1件

○14日、三段壁で30代の男性を保護。発達障害と精神疾患を抱えており、通っていた作業所の人間関係でストレスを溜め込み、飛び出してきました。話をする中で落ち着き、作業所と連絡を取り、翌日帰宅した。次はきちんと観光で遊びに来たいと話していた。

生活自立支援活動

9月1日～9月30日

滞在者数 10人(男性8人,女性2人)

自立0人

自主退所3人

強制退所0人

○2日早朝、先月に保護し、警備会社に勤め始めていた男性が、荷物をまとめて出て行ってしまった。

○2日、先月保護された40代の男性が、近くの病院での仕事に就職が決まった。来月からの雇用まで、15日から商店街の飲食店にアルバイトに通った。しかし、28日、就職先の研修に大阪に行ったきり、帰ってこなくなってしまった。

○13日、先月保護した20代の女性が、住んでいた家の荷物の整理に一時帰宅した。

○15日、まちなかキッチンで働いている50代の男性と30代の男性の間で衝突が起きた。30代の男性が、自分だけ大変な仕事をしていると感じ、他のメンバーにきつくあたってしまうこ

とがたびたびあった。メンバー全員で話し合いの時を持ち、30代の男性が考えていたことや弱点を共有し、全員で、きちんと声を掛け合ってお互いを理解しながら仕事に取り組むようにやり直した。

○19日、5月に一度職場から逃亡し、再度やりなおしを目指していた40代の男性が、再び職場からいなくなってしまった。数日前には、自分用の包丁を買い、今後に向けて努力をしていただけに、残念だ。

○まちなかキッチンで働く50代の男性が週3日、午前中に就職活動を始めた。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は、今月も目標数を達成することができた。メンバーの配置転換を行った。また、来月から配達ルートの改定に伴い、キッチンメンバー全員で夕方に営業に回った。10件、20個ほどの新規のお客を獲得することができた。

惣菜部門は、安定した売上を9月も継続することができた。惣菜部門での新規顧客獲得を目指し、飲食店を対象にしたポスティングを行った。

・放課後クラブ「コペルくん」

夏休みが明け、1日10人ほどの子どもが参加した。今月に入ってから6年生の参加率が上がった。低学年が多かった状況だったが、高学年が加わったことで、良い見本の存在ができた。子ども同士で良い刺激が起きていると感じている。また、夏に子どもたちの学習支援をサポートしてくださった地域の女性が、普段のコペルくんにも週1回ボランティアと参加してくださっている。夏のボランティアから普段の活動へと地域の協力につながったことに感謝。

夏休みの宿題の展示会が学校で行われた。夏参加した子ども一人一人の作品から努力の跡を感じることができた。また、月の下旬には、長い期間工事していた新校舎が完成し、子どもたちの学校環境が大きく変わった。新校舎の魅力をよく話してくれている。

・少年少女漂流隊

27日に少年少女漂流隊を行った。今回は近くの海で竹の筏を作った。作った筏で実際に海に出た。簡単には浮かばず、ほとんど海に沈んでいたが、子どもたちにとっては経験から学ぶ良い機会を提供できたと思う。

・相談電話

7日、14日、21日、28日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演活動

17日(土) 広島で講演